

## 茨城大学同窓会連合会会報

2022.3  
第16号

水戸キャンパス上空から

## 同窓会連合会のさらなる発展を願って

茨城大学同窓会連合会  
会長 久保田 益充

平成 18 年 9 月に同窓会連合会が発足して今年で 16 年目になります。私事で恐縮ですが平成 22 年 10 月から 2 年間は連合会会長を務めさせていただきました。今回が 2 回目となります。その間、大学当局のご支援で連合会の活動が強化され、年 3 回の幹事会、年 1 回の総会、大学役員との懇談会、ホームカミングデーの開催、会報の発行、茨城大学基金への寄附などが行われてきたわけですが、最近ではコロナ禍の影響を受けてオンラインでの会議など十分な活動が制約される状況となっています。

ところで、同窓会活動の根幹をなすものはその資金をいかに確保するかですが、年を重ねるごとに会費の納入者が減少し、令和元年ころには入学者の半数以下となりました。そのような危機的状況の中で大学には最大限のご配慮を頂き令和元年には大学総務部の中に基金・同窓会課が新設され、大学当局が同窓会会費の徴収を行っていただけることになりました。その結果、令和 3 年には納入者が新入生の 9 割以上にも達しました。

国の財政が厳しい中に有って、大学がいかに社会や学問の発展に貢献できるかであり、大学と一体化した同窓会活動がますます重要であると考えます。

コロナ禍に有って活動も思うようにできない状況ですが、大学、特に在学生を支援するための活動や学修環境の整備に向けた活動を一段と強化することが必要であると考えます。

会員の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

## コロナ禍でも逞しい茨大生たち

茨城大学  
学長 太田 寛行

昨年末に「学長と学生の懇談会」を開催しました。ここでは、その懇談会の事後アンケート結果（回答率 63%）をもとに学生たちの様子を紹介します。参加学生は、5 学部の全学年からで合計 76 名でした。まず、大学生生活全般では、“とても満足している”という回答の割合が 25%、“まあまあ満足している”が 73%であり、幸いにも、コロナ禍であっても学生たちは不便を感じなかったようです。

学生からは「オンライン下であっても充実した授業が受けられている」という意見もあり、教員の努力の賜物だと思います。また、「対面授業が増え、だんだんと生活の制限が解消されてきているため」で満足という意見もあり、キャンパス入構制限の緩和ペースも理解して頂いたようでした。しかし、“やや不満”（2%）では、「困った時に大学に頼りづらい、コロナでつながりが閉ざされた」と感じる学生もあり、今後もさらなる対応が必要と思っています。なお、この懇談会の企画が“参考となった”という回答の割合は 94%でした。その理由のなかには、「日立に行ってから水戸キャンパスのことを忘れ気味であったため、水戸キャンパスで思っていたことも他の学生が意見しており、少々懐かしい気持ちになった」と記す学生がいました。

学年を超えて交流する機会となった点でも良かったようです。逞しい茨大生を育てていくために、今後とも、同窓生の皆さまのご支援をお願いするとともに、同窓会連合会の発展を祈念しております。

## 同窓会交流コーナー

## 文理・人文学部同窓会の近況報告

文理・人文学部同窓会副会長兼幹事長 鈴木 章史

令和3年の総会は、コロナ禍により再度延期せざるを得ない状況となりましたが、役員会については、感染対策に留意することで12月に2年ぶりに開催できました。

今年度の学生への支援事業としては、「ウッドテーブル」を2基寄贈しました。コロナ禍を避けるため、外で寛いだりできるようにとの配慮です。

また、学生が中心となって令和元年から実施している「茨城の魅力を探求し発信する高校生コンテスト（いばたん）」にも引き続き後援し、最終審査会を同窓会会員の協力により「TOHO シネマズ水戸内原」で開催できました。また、5年ごとに改訂しております「同窓会会員名簿」を発行し、会員限定で、希望者に配付しました。

令和3年度は、学部入学者の約95%に当たる370名の加入者を迎えることができました。今後、コロナ禍が収束する状況になれば、会員相互の交流や情報の共有化など、同窓会活動の円滑な運営を図ることができるものと確信しております。



人文社会科学部講義棟前の「ウッドテーブル」利用状況

## 教育学部同窓会の近況報告

教育学部同窓会副会長 岡部 千草



同窓会報 54号

教育学部同窓会は総会と代議員会を1年ごとに実施しています。今年度は総会の年度でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため集会形式ではなく書面審議とし、書面表決書での開催としました。また、各科ごとに行っている同窓会支部の総会や活動の報告はありませんでした。

なお、例年とは異なる状況下ではありましたが、今年度も役員会の同意を経て、同窓会費から教育学部に教員採用試験直前対策費100万円を拠出しました。今後もよりよいかたちで教育学部を支援していけるよう検討しています。

コロナ禍で活動の制限はありましたが、例年どおり同窓会報第54号を「教員の学び続ける姿と成長」という特集テーマのもとに編集・発行しました。今号から新たに4附属学校（幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校）の現状を伝える頁も加え、会員相互の情報交換の場となるとともに、歴史に残る令和3年度の記録として会員に配付しています。

報交換の場となるとともに、歴史に残る令和3年度の記録として会員に配付しています。

## 理学部同窓会の近況報告

理学部同窓会副会長 鈴木 忠和

令和3年の同窓会の活動は、相変わらず続くコロナ禍の影響により、幹事会や支部大会が中止になるなど、令和2年に続き同窓会活動の縮小に見舞われました。しかしながら、同窓会幹事による活動計画の承認を書面で行うことにより、令和3年の常任幹事会を6月と12月に開催することができました。

令和4年6月開催予定の同窓会総会では、次期幹事の選任が大切な課題ですが、コロナ禍の状況により開催が危ぶまれ、対応の検討が必要です。ただ、幸いなことに同窓会活動の大切な一面である会報の発行は、会報担当幹事の努力のおかげで無事24号を発行することができました。24号には5名の在学生からの投稿やOBの方々、理学部教員からも寄稿をいただき、にぎやかな内容となっています。また会長も、昭和55年からの同窓会活動を簡潔にまとめた「理学部同窓会40年の歩み」を寄稿しました。40年間にわたる同窓会の活動を振り返ることができる貴重な資料です。

新しい年度が束縛から解放されたより活動的な一年になることを再度期待します。

## 多賀工業会（工学系同窓会）の近況報告

多賀工業会会長 杉田 龍二

令和3年に創立80周年を迎えた多賀工業会は、コロナ禍の中、学生支援や工業会の発展につながる事業に可能な限り取り組んで参りました。以下に、3点のトピックスについてご報告致します。

まず、毎年発行している会報を、学生、若手・中堅・年配会員、保護者いずれの方々にとっても魅力あるものになるよう、サイズをA4版に大きくし記事内容を充実させました。次に、多賀工業会及び大学にとって大きな財産である会員名簿を4年振りに発行しました。本名簿におきましては、工学部卒業生の大学院進学率が60%に増加していることなどに鑑みて、個人情報最終学歴の欄に変更しました。最後に、セキュリティに配慮した新ホームページを開設しました。そのトップページに掲載したInstagramには、諸々の日常の様子がアップされておりますのでご覧下さい。

左：令和3年5月発行の会報第64号表紙  
右：令和3年11月発行の会員名簿表紙



## 農学部同窓会の近況報告

農学部同窓会幹事長 黒田 久雄



霞光ホールに学生の活気が戻りますように

令和3年も、コロナ禍のため農学部同窓会活動も停滞してしまいました。農学部行事のほとんどが中止となりました。入試以外では、6月に阿見オリで1年次が阿見キャンパスを訪問したこと、10月に秋のオープンキャンパスを予約制で行ったときはキャンパスも少し以前のような雰囲気になりました。秋のオープンキャンパスでは学生にも手伝ってもらったことに対し、同窓会からお弁当を差し入れしました。同窓会の活動が停滞しているのは、予算を決める役員会が開催できていないからです。この3月には役員会を開催し、次年度には農学部学生・院生に対して有益な計画を立てていく予定となっています。令和4年の報告では多くの活動報告ができるように努力しますので、OB・OGの皆様には日頃からのご協力に感謝するとともに、今後のご支援もよろしくお願い致します。

## 大学トピックス

### 「令和3年度後学期 学長と学生の懇談会」の開催

令和3年12月15日に、水戸キャンパスにて「令和3年度後学期 学長と学生の懇談会」が行われました。「授業関係」「学生生活関係」「就職・キャリア関係」という3つのセッション別に分けられた部屋で、学生からの意見に対して、教職員が運営の現状や今後の方針について回答する形で行われました。セッション別懇談会の後、学長との懇談会が行われ、各セッションで話し合われた内容について代表学生が発表したのち、学生たちは自由に手を挙げ、学長に向け自身の意見を述べました。



懇談会に参加した学生たち

### 茨城大学基金賛助会員制度が開始

令和3年11月から、茨城大学基金賛助会員制度の受付が始まりました。茨城大学基金賛助会員制度は、継続的なご寄附（会費）をいただくことで、本学をご支援いただく制度です。個人会員の方は、毎月1千円（年間1万2千円）以上から、法人・団体会員の方は、毎年1口5万円からの金額でご入会いただくことができます。会員の方には、様々な特典をご用意しています。また、寄附金は税制上の優遇措置を受けることができます。

【茨城大学基金ホームページ】<https://www.ibaraki.ac.jp/fund/2021/11/post-25.html>



### 「茨城大学オンラインホームカミングデー2021」を開催

令和3年11月13日から、「茨城大学ホームカミングデー2021」の特設ページを茨城大学ホームページに掲載しています。コロナ禍の影響により、オンライン開催となった第72回茨苑祭（令和3年11月13日、14日）にあわせて、オンラインでの開催としました。本コンテンツは、本学の卒業生・修了生に、現在のキャンパスの様子を懐かしくご覧いただくことや、本学の現状を知ってもらい、今後も本学のことを心にとめていただくことを目的としています。今後も本学は、卒業生・修了生との絆を大切にまいります。

【茨城大学オンラインホームカミングデー2021 ホームページ】

<https://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/alumnus/union/homecomingday/>



第16回同窓会連合会総会、第14回同窓会連合会及び学部同窓会との意見交換会を開催

令和4年1月28日に、茨城大学と同窓会連合会および学部同窓会との意見交換会を実施しました。はじめに、太田学長から「イバダイ・ビジョン2030」及び「新たな教育組織の設置基本構想」についての紹介があり、今後は、卒業生や地域の方々といったステークホルダーとの関係作りが益々重要になってくる旨の説明がありました。

続いて、各同窓会や大学からの活動報告及び今後の活動予定についての説明がありました。その中で、コロナ禍により同窓会活動が満足にできていない状況が続いているが、在学生への学習環境設備の寄贈や予算的な支援等を通じて、在学生と同窓会との繋がりを深化していくことについて、確認がなされました。



室内換気、アクリル板の設置等の感染対策を講じて開催しました

茨城大学同窓会連合会役員

(令和2年11月26日～令和4年11月開催の総会まで)

会長	久保田益充	(理学部同窓会会長)	名誉会長	太田寛行	(茨城大学学長)
副会長	土田 恕一	(文理・人文学部同窓会会長)	顧問	久留主泰朗	(茨城大学理事・副学長(総括理事・教育統括))
副会長	外山 彬二	(教育学部同窓会会長)	顧問	佐川 泰弘	(茨城大学理事・副学長(学術統括))
副会長	杉田 龍二	(多賀工業会会長)	顧問	山岸 仁	(茨城大学理事・事務局長(総務・財務))
副会長	福地 省行	(農学部同窓会会長)	顧問	鳥羽田英夫	(茨城大学理事(社会連携))
代表幹事	小荒井 衛	(理学部同窓会常任幹事)	顧問	菊池あしな	(茨城大学理事(国際連携))
幹事	鈴木 章史	(文理・人文学部同窓会副会長兼幹事)	顧問	能島 征二	(日本藝術院会員)
幹事・会計監事	岡部 千草	(教育学部同窓会幹事)			(公益社団法人日本美術展覧会副理事長)
幹事	中井 英一	(理学部同窓会常任幹事)			(公益社団法人日本彫刻会常務理事)
幹事・会計監事	清水 淳	(多賀工業会幹事)			
幹事	黒田 久雄	(農学部同窓会幹事)			

令和2年度事業報告

(事業期間：R02.10.1～R03.9.30)

年月日	事業項目	内容
R2/10/30	第43回幹事会	①第15回茨城大学同窓会連合会総会幹事について ②第13回茨城大学と茨城大学同窓会連合会との意見交換会について ③第15号会報の発行について ④名誉会長及び顧問の推薦について ⑤令和元年度同窓会連合会費の納入依頼について ⑥2020年度入学者から実施した同窓会費の代理徴収について
R2/11/25	第15回総会	①令和元年度事業報告及び収支決算について ②令和2年度事業計画案及び予算案について ③同窓会費収入増を踏まえた茨城大学から同窓会への要請について(案) ④令和元年度次苑祭中止について ⑤各同窓会からの報告 ⑥大学からの報告
R2/11/25	第13回意見交換会	①各同窓会からの活動報告 ②茨城大学からの報告 ③FD特別セミナー及びフリートーク「茨大生が活躍するために同窓会ができること」(講師：全学教育機構 総合教育企画部門 准教授 高田敏行)
R2/11/14,15	ホームカミングデー不開催	コロナ禍による次苑祭中止に伴う不開催
R3/ 2/18	「茨城大学基金」へ寄附	100万円
R3/ 2/22	「茨城大学基金」へ寄附	5万円
R3/ 3/16	会報「第15号」発行	発行部数：5,000部 卒業生・修了生への配付 職域同窓会等への郵送

令和2年度収支決算

(会計期間：R02.10.1～R03.9.30)

事項	収入		備考	支出		備考
	当初予算	収入額		当初予算	支出額	
1 繰越金	713,256	713,256		1 管理費	140,000	122,400
2 会費	250,000	250,000	同窓会連合会会費 (5学部同窓会×5万円)	(1) 通信費	10,000	5,470
3 事業費	0	0		(2) 印刷費	120,000	115,500
4 預金利息	6	8	2月分・8月分	(3) 事務費	10,000	1,430
5 寄附金	1,000,000	1,000,000	茨城大学基金への寄附	2 事業費	1,140,000	1,050,000
合 計	1,963,262	1,963,264		(1) 会議費	10,000	0
				(2) 交際費	30,000	0
				(3) 寄附金	1,050,000	1,050,000
				(4) 共催金	50,000	0
				3 予備費	683,262	0
				合 計	1,963,262	1,172,400
						次年度繰越額
						790,864

令和3年度事業計画

(事業期間：R03.10.1～R04.9.30)

年月日	事業項目	内容
R3/11/13-	茨苑祭 オンラインホームカミング デー2021	茨苑祭のオンライン開催に合わせて、オンラインホームカミングデー2021を開催。 ①学長挨拶 ②キャンパスツアー(水戸・日立・阿見) ③茨城大学基金へのご協力依頼
R3/12/10	第44回幹事会	①第15回茨城大学同窓会連合会総会幹事について ②第14回茨城大学と茨城大学同窓会連合会との意見交換会について ③「茨城大学情報ネットワークシステム利用要項」制定に伴う手続きについて ④茨城大学への寄附のお願いについて ⑤第16号会報の発行について ⑥令和2年度同窓会連合会費の納入依頼について ⑦オンラインホームカミングデー2021の実施について
R4/ 1/28	16 回総会	①令和元年度事業報告及び収支決算について ②令和2年度事業計画案及び予算案について ③茨城大学への寄附のお願いについて ④「茨城大学情報ネットワークシステム利用要項」制定に伴う手続きについて ⑤オンラインホームカミングデー2021の実施について
R4/ 1/28	第14回茨城大学と同窓会連合会 及び学部同窓会との意見交換会	①現役学生と卒業生(同窓会)との交流について
R4/ 2/	「茨城大学基金」へ寄附	5万円+120万円
R4/ 3/	会報「第16号」発行	発行部数：5,000部(案) 卒業生・修了生への配付を予定
R4/ 5/	第45回幹事会(予定)	【主な議題】水戸キャンパス茨苑祭(11月)でのホームカミングデー実施について
R4/ 8/	第46回幹事会(予定)	【主な議題】11月開催の茨城大学と同窓会連合会及び学部同窓会との総会及び意見交換会について

令和3年度予算

(会計期間：R03.10.1～R04.9.30)

事項	収入		備考	支出		備考
	決算額	収入額		決算額	支出額	
1 繰越金	790,864	790,864		1 管理費	135,000	
2 会費	250,000	250,000	同窓会連合会会費 (5学部同窓会×5万円)	(1) 通信費	10,000	会報郵送、総会案内 発送等
3 事業費	0	0		(2) 印刷費	120,000	会報5,000部印刷
4 預金利息	8	8	2月分・8月分	(3) 事務費	5,000	消耗品、振込手数料
5 寄附金	1,200,000	1,200,000	茨城大学基金への寄附 (各同窓会からの拠出金)	2 事業費	1,340,000	
合 計	2,240,872	2,240,872		(1) 会議費	10,000	役員との懇談会費
				(2) 交際費	30,000	職域同窓会総会等経費
				(3) 寄附金	1,250,000	茨城大学基金への寄附
				(4) 共催金	50,000	ホームカミングデー2022の共催費
				3 予備費	765,872	
				合 計	2,240,872	

編集後記

令和となってから4年目をむかえました。依然としてコロナ禍であり、学生生活にも大なり小なり影響が続いています。その中で、茨苑祭のように、工夫しながら実施されるイベントも出てきたことは、学生にとって非常に大きな意味を持つことになったかと思えます。おかげさまで、ホームカミングデーもオンライン開催とすることができました。同窓会連合会では、茨城大学をより身近に感じていただくように、今後も現役学生と同窓生との橋渡しの役割を果たしていきたいと思えます。HY

茨城大学同窓会連合会事務局  
(国立大学法人茨城大学総務部基金・同窓会課内)  
〒310-8512 水戸市文京2-1-1  
電話：029-228-8781 FAX：029-228-8249

茨城大学HP  
<http://www.ibaraki.ac.jp/>  
茨城大学同窓会連合会HP  
<https://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/alumnus/union/>